

事業名	全国離島交流中学生野球大会参画事業
-----	-------------------

総事業費	2,149 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	社会体育の充実
	基本事業名	スポーツ・レクリエーションの振興

② 実施 (Do)

事業の意図	郷土に誇りを持つことができる	
事業の実績 と成果	取組内容	離島中学生野球大会に種子島中学校野球部員を派遣し、離島の中学生と交流を図った。
	成果	交流親善試合及び野球教室を通じて、全国離島中学生との交流を深めることができた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	種子島1市2町それぞれがチームを編成して出場しているが、野球部員の減少に伴い、参加者が少なくなっている。今後合同チームでの参加について検討する必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・当事業の目的は、離島という地理的条件の中、交流機会の少ない全国の中学生が野球を通じて一堂に会することで、新たな人間形成や健全な青少年の育成を促進することにある。人間性や社会性を豊かなものにしていくためには、体験型活動は非常に有意義であると考えます。 ・今後の課題としては、各市町単独で大会に出場するのではなく、島内選抜チームとして出場する方向性も含め、総合的に検討する必要があると思われる。まずは、1市2町の担当者レベルで考え方を整理しつつ、各学校の意向も把握していくこととしたい。

④ 改善 (Action)

2023年度方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな人間形成や健全な青少年の育成を促進する。 ・チームの編成や出場の在り方など検討する。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	スポーツ交流合宿誘致事業
-----	--------------

総事業費	193 千円
------	--------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	社会体育の充実
	基本事業名	スポーツ・レクリエーションの振興

② 実施 (Do)

事業の意図	島外の中学生・高校生・大学生・実業団チームとの交流をすることで、スポーツの技術力向上を図ることができる	
事業の実績 と成果	取組内容	大阪で開催された県主催のスポーツ合宿セミナーに参加し、誘致活動を行った。
	成果	夏休みに合宿の予約があったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大のためキャンセルとなり、受入実績はなかったが、次年度に向けて合宿セミナーで多くの団体に誘致活動を行った。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	種子島までの交通費及び練習場所と宿泊先間の交通手段の確保又は助成をする必要がある。また、宿泊場所の確保が喫緊の課題である。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	<ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年度の合宿誘致団体数は0件であった。・スポーツ合宿誘致については、スポーツの技術力・競技力の向上、さらには経済波及効果への期待感から多くの自治体に取り組んでいる。それだけに合宿団体を増やすためには、本市にしかない魅力を広く外に発信する必要があると考える。・今年度は、大阪で開催された県主催のスポーツ合宿セミナーに参加し、誘致活動を行った。・今後の課題としては、種子島までの交通費及び練習場所と宿泊先間の交通手段の確保又は助成をする必要がある。また、積極的に合宿誘致を図るつもりではあるが、宿泊場所の確保が喫緊の課題である。

④ 改善 (Action)

2023年度方向性	<ul style="list-style-type: none">・宿泊費の助成に加え、交通費の一部助成を実施する。・継続的に合宿誘致活動を行う。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	市民体育祭開催事業
-----	-----------

総事業費	0 千円
------	------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	社会体育の充実
	基本事業名	スポーツ・レクリエーションの振興

② 実施 (Do)

事業の意図	心身ともに健康でゆとりある生活を送ることができる	
事業の実績 と成果	取組内容	ウィズコロナ版のプログラム・実施要項を作成し、感染予防対策を徹底し、3年ぶりの開催に向けて取り組んだ。
	成果	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	感染症対策を講じた上での開催方法の検討と、少子高齢化により参加できない校区が出てきているため、プログラムの見直し等を行う必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	<ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年度も残念ながら実施できなかった。・近年、新型コロナウイルス感染症の影響や少子高齢化により体育行事への参加要請、特に小規模地域からの選手や役員の選出などが厳しいとの声があるため、プログラムの見直しや単独では出場が困難な地区においては、近隣地区と合同で参加できるなどを検討する必要がある。・数年間、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できていないため、職員を含めスポーツ推進委員も市民体育祭のやり方を忘れていないかと思われる。

④ 改善 (Action)

2023年度方向性	<ul style="list-style-type: none">・コロナ禍においても実施できる感染症対策を講じたプログラムの作成。・小規模校区が参加しやすいプログラム、競技内容の見直しを行う。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明